

アポイント



ドクターのリレー講座
胆石の日常診療
消化器外科 診療科長
池田 直哉



チーム医療
No.8
緩和ケア
支援チーム

Vol.74
2020.1



第7回つくば研修医
メディカルラリー
開催



12誘導心電図
伝送システムとは？

- ・アメニティ紹介
- ・健康フォーラムつくばスタート
- ・イオンモールつくばにて健康づくりイベント開催



「朝霞の輝き」法人ボランティア 戸田雅夫

ドクターのレシー講座



胆石の日常診療

消化器外科 診療科長

いけだ なおや

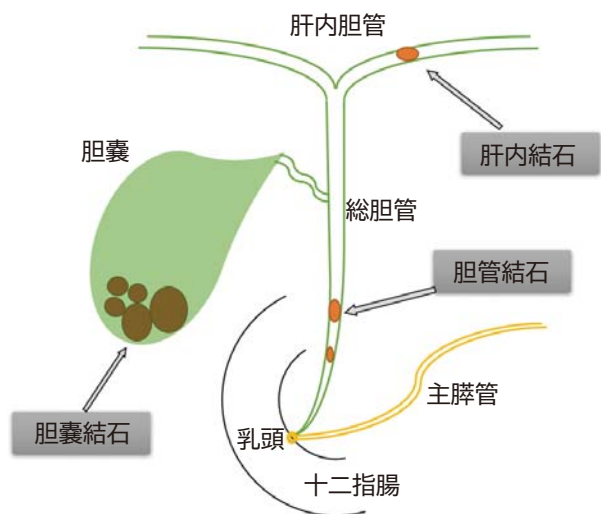
池田 直哉



「胆石」とは何ですか？

胆石は、胆汁の通り道(肝臓内の肝内胆管→胆管・胆嚢→十二指腸乳頭)に発生する結石のことです(図1)。よく聞く病名ですが、実は結石の存在する場所により3種類に分かれています。「胆石」というと、一般的には胆嚢に生じる胆嚢結石のことを指します。他に胆管結石や肝内結石があります。今回は、頻度の高い胆嚢結石と胆管結石について、日常的に外来や病棟でご説明させていただいている内容をお伝えさせていただきます。

図1 胆石と胆汁の通り道



胆嚢結石について

胆嚢結石は、無症状で経過することが多いのですが、年間数%の頻度で症状が認められるとの報告があります。食後の心窩部痛(みぞおち)や腰背部痛が比較的よくみられる症状です(胆石発作)。「食後に胃が痛い」と感じている方は、ぜひ一度、腹部超音波検査をお勧めいたします。昔から危険因子として、50代、女性、肥満、白人、経産婦などが知られています。脂質の多い食事が発作につながることも多く、有症状の方には特に、食事制限をお勧めしています。

治療については、無症状であれば治療せず経過観察のみ行います。有症状の方に対しては、症状が繰り返すことや、胆嚢炎の原因となることから、手術により胆嚢ごと胆嚢結石を摘出します。当院での胆嚢摘出術は、9割以上の方で腹腔鏡を用いて施行しています。4日間程度の入院で、年間約90-100件の腹腔鏡下胆嚢摘出術を行っています。手術時間は、1時間程度で終了する方が大半です(図2)。

一方、健診で腹部超音波検査を受ける機会が増え、無症状の胆嚢結石の方が多く発見されています。結石が大きかったり、複数結石が胆嚢内に充満していたりする方は、胆嚢壁が厚くなることもあり、胆のうがんと区別が難しかったり、超音波検査では詳細な検討ができなかったりする方がいます。そのような方では、無症状であっても患者さんごとの相談の上、手術を行うことがあります。

図2 摘出した胆嚢結石



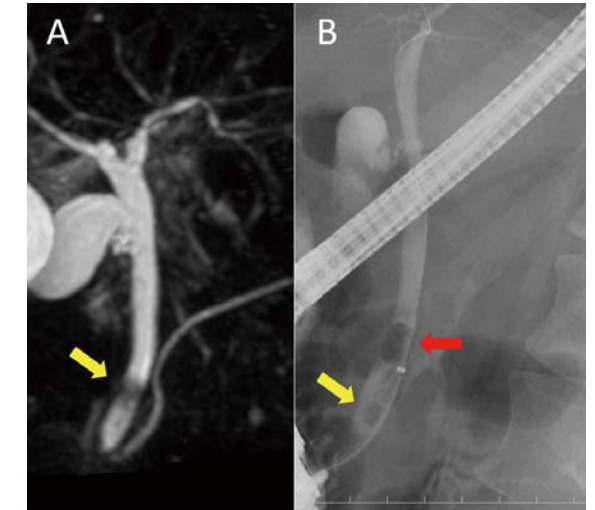
胆嚢結石の他の問題点は、胆嚢炎の原因となることです。最近の胆道感染症治療ガイドラインでは、胆嚢炎に対しての早期の手術治療が勧められていますが、様々な合併症を抱える高齢者や、心筋梗塞などで抗血小板薬治療が行われている患者さんでは、緊急手術が適していない場合があり、治療に難渋し入院期間が長くなる場合があります。何度も胆石発作や胆のう炎を繰り返した後は、胆嚢周囲に癒着が生じ、腹腔鏡手術では危険な場合があります。安全を優先し開腹手術で行う場合があります。そのため、有症状の胆嚢結石の方は、胆嚢炎になる前の予定した手術治療をお勧めさせていただきます。

胆管結石について

胆管結石も無症状であることが多いのですが、採血検査での肝機能障害の指摘をきっかけに発見されたり、腹部超音波検査で胆嚢結石が発見され、精密検査でさらに胆管結石も見つかったりすることがよくあります。結石によっては、胆嚢結石が胆管に落下し、胆管結石となることがあります。胆管炎を伴って発見されることも多く、その際には、腹痛、発熱、吐き気、黄疸などの症状がみられます。特に高齢者や糖尿病、経口ステロイド薬投与中の方では、胆管炎が重篤化し、残念ながらお亡くなりになる方もいます。よって、胆管結石では無症状でも、検査ができないほどの高齢者や治療を希望されない方以外は、内視鏡での結石の除去が勧められます。

胆管結石の治療は、内視鏡的に治療することが多く、特殊な状況以外は現在ではほとんど手術を行うことはありません。胆管や膵管の検査治療のための特殊な内視鏡で治療を行います(図3)。十二指腸乳頭から総胆管へガイドワイヤーを挿入し、胆道で一番狭い部分である十二指腸乳頭を、専用バルーンを用いたり、切開したりして広げ、結石を摘出します。巨大な結石では、総胆管内でバスケットカテーテルを用いて砕き、細かくして摘出します。また、一度の治療では結石が除去できないこともあり、複数回内視鏡治療を行うことがあります。

図3 総胆管結石のMRCP像(A)、ERCP像(B)



A: MRCP(MR胆管膵管撮影)で下部胆管に結石あり(黄色矢印)
B: 特殊内視鏡での結石摘出像(結石;黄色矢印、専用バルーン;赤矢印)

胆管結石のもう一つの問題点は、結石が小さい場合に十二指腸乳頭で引っ掛かり(陥頓)、主膵管からの膵液の排出が障害され、膵炎になることがある点です。胆管結石の治療と膵炎の治療を並行して行うことになり、入院期間が長くなる傾向があります。また、胆嚢結石と胆管結石が同時に発見された際は、再び胆管へ胆嚢結石が落下する可能性があり、内視鏡による胆管結石治療を行い、できるだけ速やかに胆嚢摘出術を予定させていただきます。

おわりに

胆石の治療の一般的な内容をお伝えさせていただきました。健診で肝機能検査異常値の指摘があった方や食後の胃痛などをお感じの方は、ぜひ当院へご相談ください。まれに、胆石ではない病気(胆管がん、膵胆管合流異常症など)が発見されることもあります。当院消化器外科では、かかりつけの先生方からの紹介を積極的にお引き受けし、連携して参ります。



チーム医療

一人ひとりの患者さんに対し、関係する専門職が集まり、チームとして治療やケアに当たることをチーム医療と言います。医師や看護師のほかに、さまざまな職種が連携して、情報を共有し意見を交換します。多くの専門職が関わることで、より良い治療やケアだけでなく、安全な医療の提供にもつながります。また、患者さんやご家族にとっても治療やケアの選択肢が増え、相談もしやすくなります。

私たちは、患者さんやご家族もチーム医療の一員と考えています。より良い治療やケア、そして早期退院を目指して協力し合っていくことが各チームの目標です。

今回は緩和ケア支援チームをご紹介します。

緩和ケア支援チーム

緩和ケアとは

「緩和ケア」とは、「重い病を抱える患者さんとその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア」です。

これまでは主にがん治療における「終末期医療」というイメージが強かった「緩和ケア」ですが、今は病気の治療と並行して受けることも増え、がん以外の患者さんもケアの対象者となっています。

当院には緩和ケア専門の「緩和医療科」があり、入院、外来で「緩和ケア」を受けることができます^(※)。その中で、入院中の患者さんの緩和ケアのお手伝いをさせていただいているのが、私たち「緩和ケア支援チーム」です。

※緩和医療科の「外来」は、がん患者さんを対象としております。

緩和ケア支援チームの活動

がん患者さんを中心に、心疾患や呼吸器疾患など、がん以外の患者さんの症状緩和のお手伝いもしています。

メンバーは多職種で構成され、痛みや息苦しさ、吐き気、むくみといったお身体の苦痛やお気持ちのつらさ、退院後の生活、医療費など、幅広い困りごとに対応しています。

ご入院中に「緩和ケア支援チーム」のサポートを希望される方は、主治医や病棟看護師にご相談ください。



毎週木曜日 午前中にチーム回診を行っています(木曜日以外でも必要に応じて伺います)。メンバーは医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーで構成されています。



第7回つくば研修医 メディカルラリー開催



10月22日、初期臨床研修医に必要な知識と診療スキルを問う「つくば研修医メディカルラリー」を開催しました。研修医(1年目と2年目)がペアを組み、8つの課題にチャレンジしました！メディカルラリーとは医療技術を競う競技会のこと。限られた時間内に適切な処置を行い、その診療内容ごとに採点され総合得点を競います！

競技の紹介

メディカルラリーの課題は、外傷診療、小児科診療、英語診療など様々ですが、「その場の状況を評価し傷病者を診察して、適切な医療を施す」という基本的な医療技術が問われます。傷病者役も生身の人間が演じ、非常にリアリティのある内容で、研修医を考えさせる様々な状況が待ちうけています。



救急車で運ばれてきた交通事故の傷病者への対応がテーマ。エコー画像やレントゲン画像をもとに原因究明！

こちらは「院外診療」の課題です。休日にバーベキューをしていたら体調不良者に遭遇！体調不良の原因に、いち早く気づき応急処置を行うことが問われます。今回の体調不良の原因はアレルギー反応によるアナフィラキシーショック。友人の話だと患者には食物アレルギーがあるらしい！？



テーブルに置かれた“ピーナッツ成分”入りのドレッシングが原因究明のヒントです…





12誘導心電図伝送システムとは？

救急診療科 榎木愛登

急性心筋梗塞という疾患があります。心臓に血液を送る血管が詰まり、心臓の細胞が死んでしまう極めて重症度の高い疾患です。最悪の場合死にいたることもあるこの疾患は迅速に治療をすることが重要です。心筋の損傷は血管が詰まった瞬間から始まり、時間とともに急速に進むからです。12誘導心電図伝送システムは、このような患者さんに対し、病院到着から治療開始までの時間を短縮する画期的なシステムです。



中央の黒い端末が12誘導心電図です

胸が急に痛くなった等の理由により救急搬送された患者さんは、病院に到着すると同時に検査が行われます。特に重要なのは12誘導心電図です。この「12」とは心電図の波形の種類の数であり、救急車内のモニター上の心電図に比べ情報量が断然多いことが特徴です。急性心筋梗塞と診断した場合にはすぐに初期治療が開始され、同時に治療を行う医師を招集し治療を行う治療室の準備を早急に進めます。それらの準備が完了した段階で患者さんが移動し、心臓の血管の詰まりを解除(再灌流)する治療を開始します。その治療については「病院に入ってから再灌流を得るまでの時間(Door To Balloon Time : DTBT)を90分以内にすべし」とされているほど、治療時間が強く意識されています。そこで活躍するのが12誘導心電図伝送システムです。当院

はこのシステムをドクターカーに搭載し現場に向かっていきます。現場から12誘導心電図を病院へ伝送すると、病院で心電図を受けとった医師がその心電図変化から急性心筋梗塞と診断し治療医の招集とカテーテル室の準備を行います。現場では同様に心筋梗塞と診断した医師が初期治療を開始しながら患者さんを病院へ搬送します。病院へ到着した時点で診断と初期治療、院内の準備が完了しているために患者さんは極めて短時間に治療を開始することができ、DTBTを短くすることができるシステムです。当院ではこのシステムを用いてDTBT19分という全国で最も短い時間内の治療成績を残しています。今後このシステムがもっと広い地域で活用され急性心筋梗塞の治療が更に早く進む世の中になるよう、当院も活動を続けていきます。



アメニティ紹介

POINT 01 療養環境



多床室は4人部屋となり、収納スペース付きの木製家具により間仕切られています。プライバシーに配慮し、また感染予防にもなっております。通常この形態だと個室料金が発生しますが、当院では頂いておりません。

POINT 02 食事

入院された患者さんから、「今までの病院食のイメージが変わった」「食事が楽しみ」というメッセージを頂きました。



生きる上で食事は楽しみの一つであり、病院の中では大切な治療の一環でもあります。おいしく、治療上の精度が高い、そして衛生的な食事の提供に努めています。



写真は常菜食です

いつも心のこもったおいしいお食事本当にありがとうございました。ごちそうさまでした。

食事の配膳の際、温かいお言葉を頂きました。



POINT 03 エントランス



来院する人を迎える「病院の顔」であるエントランスを、県産材の檜を用いて温かみのある空間に改修しました。このプロジェクトは、2019年茨城デザインセレクションにてシリーズ選定を受賞しました。

「いばらきデザインセレクション」の詳細はこちら



2020.2.8 土

健康フォーラムつくばスタート

2003年1月より地域住民の健康増進を目的に「市民健康講座」を開催してきました。毎月1回第2土曜日に“イーアスホール”で開催し、全207回、延べ23,236名の市民の皆さまにご参加いただきました。ありがとうございました。

2020年2月より装いも新たに“健康フォーラムつくば”という名で、地域住民の皆さまを対象とした新企画をスタートすることにいたしました。“健康フォーラムつくば”の開催にあたりつくば市と共催し、これまでの講演中心ではなく、体験企画を組み合わせた“市民参加型の企画”を年5回(2月、4月、6月、10月、12月)開催していく予定です。

第1回は、つくば市主催で2月8日(土)、『「人生会議」をはじめよう～「もしも」の時に備えて～』をテーマに、総合診療科廣瀬由美医長、木野美和子精神看護専門看護師、田中久美老人看護専門看護師が講師を務めます。

どなたでもご参加いただけます。
お気軽にお越しください。

健康フォーラムつくば

第1回

入場無料
先着150名 申込不要

日時 2020年2月8日(土) 13:00開場 / 14:00開演

会場 イーアスホール(イーアスつくば2階)

『「人生会議」をはじめよう
～「もしも」の時に備えて～』

筑波メディカルセンター病院

総合診療科医長 廣瀬 由美
精神看護専門看護師 木野 美和子
老人看護専門看護師 田中 久美

※日程の都合により、変更した場合は入場券の取りかえができません。

お問合せ
健康フォーラムつくば事務局
公益財団法人筑波メディカルセンター事務局
〒305-8558 つくば市天久保1-3-1
☎ 029-851-3511

主催 つくば市
共催 筑波メディカルセンター
I-PAD 後援 つくば市

2020.2.1 土

イオンモールつくばにて健康づくりイベント開催

当院では、疾病の予防と治療、病院やクリニック・医院の上手なかかり方について、上記の健康フォーラムつくばや、比較的遠方にお住まいのかた向けに「市民健康ひろば」をつくばみらい市・常総市・守谷市に出張して開催しています。身近な場所で最先端治療の講義、実際の治療機器に触れたり、予防体操などを体験する“おとなの体験型健康教室”に参加できます。

今回は、イオンモールつくばで健康づくりのイベントを開催します。

循環器内科 相原英明専門科長による、コンパクトでわかりやすいと好評のミニレクチャー「よくわかる心筋梗塞と狭心症のおはなし」と心筋梗塞・狭心症・動脈硬化疾患の医療相談が開かれます。じつはこの医療相談、以前開催の時にはたった5分で整理券が無くなってしまふほどの人気でした。今回は、循環器内科医と心臓血管外科医による心筋梗塞・狭心症・動脈硬化疾患の医療相談になります。特に糖尿病、喫煙、高血圧、高コレステロールの方はリスクが高くなりますので、ご相談をお待ちしております。10時のオープンと同時に3階イオンホールAにて整理券を配布いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

Health

ハピネスモール

その胸痛大丈夫?
実は心筋梗塞の前触れかも...

参加無料

日時 2020.2.1(土)
10:30▶12:00

会場 イオンモールつくば
：イオンホールA(3F)

講演 10:30～11:00
よくわかる心筋梗塞と狭心症のおはなし

筑波メディカルセンター病院
循環器内科専門科長 相原 英明

※定員 80名 申込み不要

心筋梗塞・狭心症・動脈硬化疾患の医療相談 11:10～12:00

特に糖尿病、喫煙、高血圧、高コレステロールの方は、ご相談をお待ちしています。

筑波メディカルセンター病院
心臓血管外科 相原 英明
筑波メディカルセンター病院
循環器内科専門科長 相原 英明

※先着 20名
10:10～イオンホールAにて整理券配付

◆お問合せ◆ 筑波メディカルセンター病院 地域医療連携課 担当：小林、長島
☎ 029-858-5272 (平日 9:30～17:30)

主催 AEON MALL イオンモールつくば 共催 筑波メディカルセンター病院 I-PAD 後援 つくば市

公益財団法人 筑波メディカルセンター
筑波メディカルセンター病院
Tsukuba Medical Center Hospital
〒305-8558 つくば市天久保1-3-1
TEL 029-851-3511

じくや ともあき
発行人 病院長 軸屋 智昭
発行日 2020年1月吉日
E-mailアドレス:hp@tmch.or.jp
ホームページ:http://www.tmch.or.jp/

